

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農産園芸課長 森上 浩平 電話番号 0852-22-5123

事務事業の名称	園芸県推進事業	
目的	(1) 対象	園芸品目の生産者、関係機関、団体
	(2) 意図	空きハウスの活用や労力補充のしくみづくりによる、園芸産地の維持・再生を目指す
事業概要	ハウス導入時における初期投資の軽減を図るための空きハウスの活用、労力補充、露地野菜の新たな生産モデルの導入など、園芸産地の仕組みづくりを推進し、新たな担い手を育成するとともに園芸産地の再生を目指す。また、市場性とオリジナリティを兼ね備えた島根の顔となるシャインマスカット、トルコギキョウ、あすっこなどの品目を戦略品目として位置づけ、生産・販売の一体的な戦略を展開する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	園芸産地再生に向けたモデル地域	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		4.00	4.00	4.00	4.00	
式・定義	産地再生に向けて協議会等を設立し、具体的取り組みを行う地域数（累計）		実績値	0.00	3.00	5.00	5.00		
			達成率		75.00	125.00	125.00		%
式・定義	指標名	産地再生に向けたしくみづくりに取り組む組織数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		4.00	8.00	12.00	16.00	
式・定義	園芸県推進事業および新がんばる島根推進事業により取り組みを実施する組織数（累計）		実績値	0.00	5.00	10.00	13.00		
			達成率		125.00	125.00	108.40		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,955	5,125
うち一般財源(千円)	3,955	5,125

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

目標を超えるモデル地域で取り組みが始まり、各モデル地域では産地を支える新たな支援体制が検討されている。また、空きハウス活用の取り組みは、定着しつつある。一方で、利用可能な空きハウスが少なくなるとともに、ハウスの老朽化が進み、再利用に多額の修繕費を必要とする事例が増えている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

園芸産地で労力補充等取り組みモデル地域として、5地区を選定し、サポーター制度や新規就農者の受入制度など支援体制が充実した。空きハウスの利用は、11組織で取り組みが行われ、産地における空きハウスの活用が定着しつつある。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
空きハウスの減少や施設の老朽化が進み、空きハウスの活用が年々難しくなっている。労力補充の仕組みは、モデル地域を中心として導入が進んだが、継続的な取り組みに繋がらない事例が多い。
- ②困っている状況が発生している「原因」
産地では、施設費が高騰する中、新たな施設の整備が進まず、施設の老朽化が進んでいる。労力補充の仕組みでは、作業受委託の双方において、料金や作業体系など利用拡大を進める上で課題がある。
- ③原因を解消するための「課題」
新たな施設の整備を推進する仕組みを構築する。
利用しやすい労力補充システムを構築する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

担い手の確保・育成に繋げるためには、空きハウス等の有効活用を図るとともに、リースハウスの整備による産地基盤の強化を図る。労力補充の仕組みは、これまでの取り組みで明らかになった課題について、事例検証等を行い、持続的に活用できる仕組みづくりを進める。特に、キャベツなど露地野菜産地においては、機械化の推進や作業受委託体制の導入など省力作業体系の構築を急務として取り組む必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）